

報道機関各位

文化財課 文化財係

「旧坂越浦会所の開館以来の入館者数が30万人を達成する見込み」について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	旧坂越浦会所の開館以来の入館者数が30万人を達成する見込み
日時	令和4年6月3日（金曜日）ころの見込み
場所・住所	—
趣旨・目的（PRしたいこと） このたび、旧坂越浦会所において、開館以来の入館者数が30万人を達成する見込みとなりましたので、お知らせいたします。30万人目の入館者には記念品を贈呈し、お祝いいたします。 詳細は別紙を参照ください。	
問い合わせ先	部課係名：赤穂教育委員会文化財課文化財係 担当者名：荒木幸治 電話：0791-43-6962 内線(2326) F A X：0791-43-6895

○添付資料（有・無） ○ホームページへの掲載（有・無） ○議会報告（有・無）

報道資料

旧坂越浦会所の開館以来入館者数30万人の達成見込みについて（お知らせ）

旧坂越浦会所は、正面を坂越港に向け、町並みの中心にあつて、行政や商業などの事務をとるための村会所として、天保2～3（1831～1832）年に建築されました。当建物は、会所であると同時に、赤穂藩の茶屋としての役割を持っており、2階に藩主専用の部屋「観海楼」が設けられているのが特徴です。昭和5年（1930）には改造されて坂越公会堂として利用されるなどし、平成4（1992）年4月30日には赤穂市指定文化財（有形文化財・建造物）に指定されました。その後、平成6年（1994）年8月1日には解体復元修理を経て「旧坂越浦会所」として竣工し、一般公開に供されました。

一般公開当時、年間3,000人余りだった入館者数は、坂越のまち並みの人気とともに増加して年間1万人を越えるようになり、平成22年5月7日には入館者が10万人（開館4,824日目）に、平成29年5月29日には20万人（公開6,980日目）を突破しました。

そしてこのたび、令和4年6月に30万人を突破する見込みとなりました。

30万人目の入館者に対し記念品を贈呈し、お祝いすることとしておりますのでお知らせいたします。

記

1 達成見込み日

令和4年6月3日（金曜日）午前中の見込み

開館以来の延べ開館日数 8,462日の見込み

2 記念品

忠臣蔵エコバック・赤穂義士ハンカチ・てぬぐいほか忠臣蔵グッズ

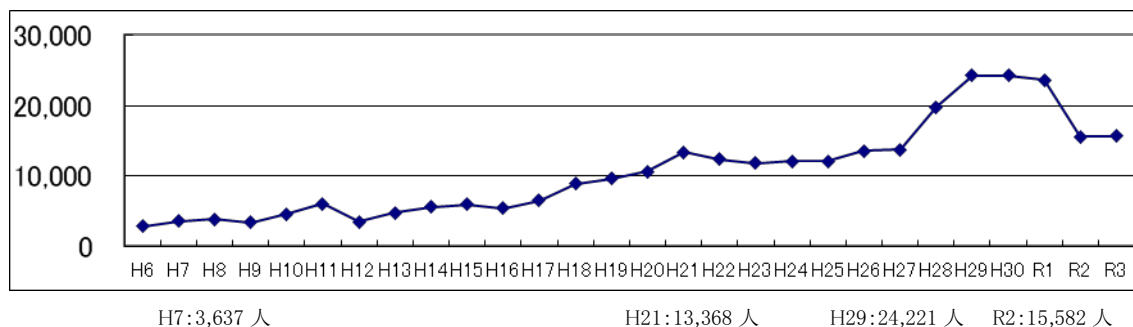
赤穂の真塩・差塩ほか日本遺産グッズ

陣たくんピンバッチ

教育委員会発行『天然記念物生島の植生調査報告 2021』

市内文化財案内パンフレット 1式

3 入館者数の推移(参考)



4 問合せ先

達成日決定の際に連絡を希望される場合は下記にご連絡ください。

赤穂市教育委員会文化財課文化財係（担当：荒木）0791-43-6962